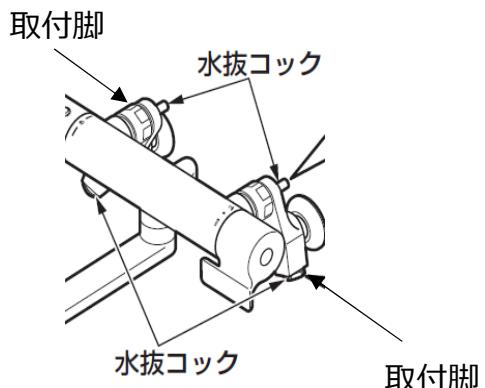
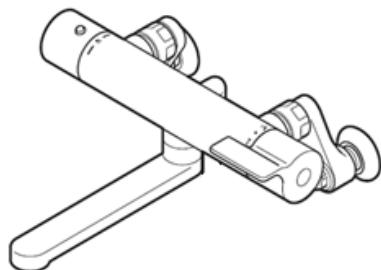
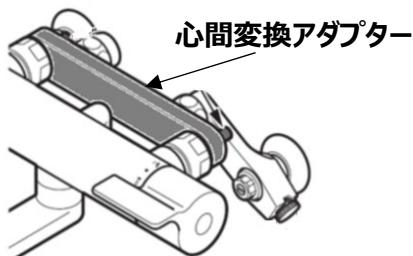


サザナ HTシリーズ P/T/S/N/Fタイプ サーモスタット混合水栓(寒冷地用) 浴槽用のシャワーのないタイプ

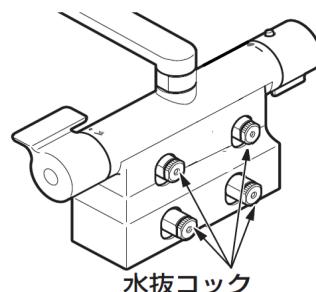
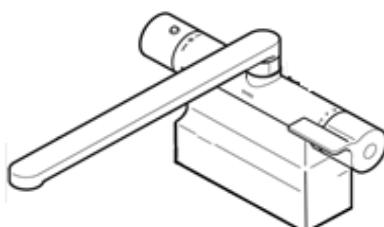
寒冷地用水栓は、取付脚に水抜コックがあります



壁付き サーモスタット混合水栓



壁付き サーモスタット混合水栓に
心間変換アダプター(TBN01206型)を
取り付けている場合



台付き サーモスタット混合水栓

凍結予防方法

P 2、3

通水再開方法

P 4

水抜きを行っても 通水再開後、水が出ない場合の対応方法

P4

通水再開後に流量が変わった場合の対応方法

P5

万一 凍結した場合の対応方法

P 6

凍結後、温度がずれている場合の調整方法

P6、7

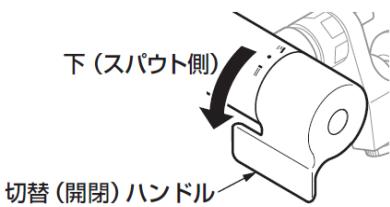
凍結予防方法

1. 水栓の水抜きをする前に

配管内の水を抜いてください。

配管内の水を抜いていない場合、水栓内の水が十分に抜けず、凍結のおそれがあります。

2. 水栓の水抜き方法



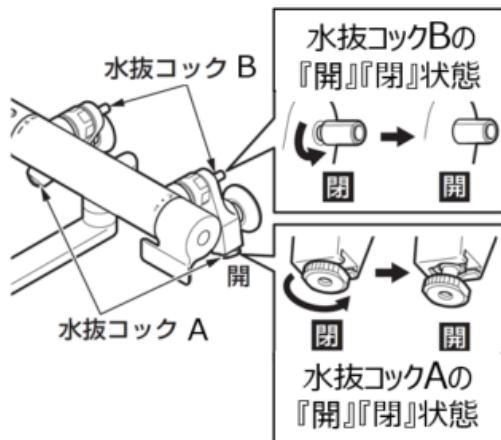
1 切替(開閉)ハンドルを下いっぱいに回す。

2 水抜きコックが熱くないことを確認してください。

3 水抜きコックをすべて開ける。

空気を取り入れ、水を抜けやすくなります。

(1)壁付きサーモスタット混合水栓の場合



(2)壁付きサーモスタット混合水栓に心間変換アダプター(TBN01206型)を取り付けている場合

(1)壁付きサーモスタット混合水栓の場合

取付脚部の水抜きコックA 2カ所

(2)心間変換アダプターがある場合

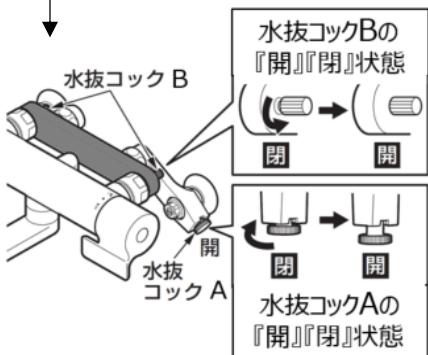
取付脚部の水抜きコックA 2カ所

心間変換アダプターの水抜きコックB 2カ所

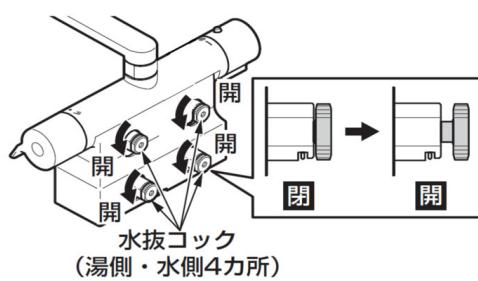
(3)台付きサーモスタット混合水栓の場合

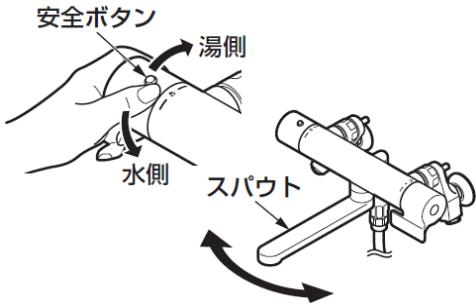
背面の水抜きコック 4カ所

心間変換アダプター



(3)台付きサーモスタット混合水栓の場合





6

安全ボタンを押したまま、温度調節ハンドルを湯側⇨水側と複数回切り替え、スパウトから水を抜く。確実に水を抜くため。

7

確実に水が抜けたことを確認する。

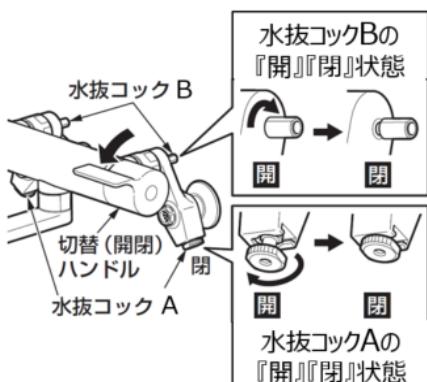
※水抜きが不十分な場合、

凍結破損のおそれがあります。

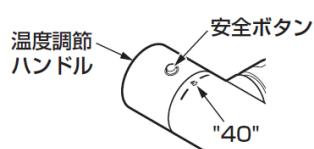
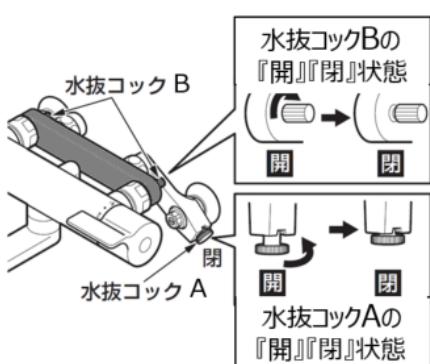
8

水抜コックを閉める。

(1)壁付きサーモスタット混合水栓の場合



(2)壁付きサーモスタット混合水栓に心間変換アダプター(TBN01206型)を取り付けている場合



9

切替(開閉)ハンドルを閉める。

⇒水抜き完了です。

10

温度調節ハンドルの安全ボタンを"40"の位置にしておく。

安全ボタンを押したまま、温度調節ハンドルを湯側⇨水側と複数回切り替え、スパウトから水を抜く。確実に水を抜くため。

確実に水が抜けたことを確認する。

※水抜きが不十分な場合、

凍結破損のおそれがあります。

水抜コックを閉める。

(1)壁付きサーモスタット混合水栓の場合

取付脚部の水抜コックA 2カ所

水抜コックB 2カ所

(2)心間変換アダプターがある場合

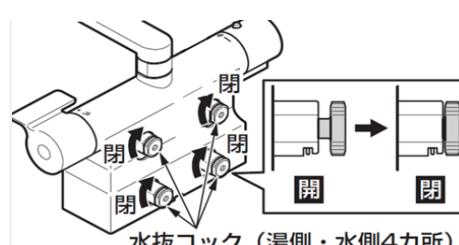
取付脚部の水抜コックA 2カ所

心間変換アダプターの水抜コックB 2カ所

(3)台付きサーモスタット混合水栓の場合

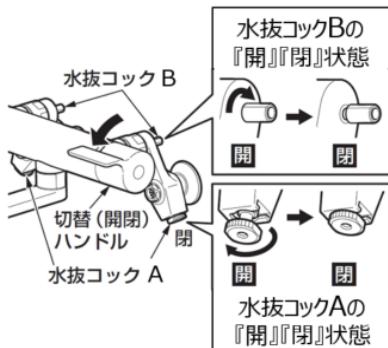
背面の水抜コック 4カ所

(3)台付きサーモスタット混合水栓の場合

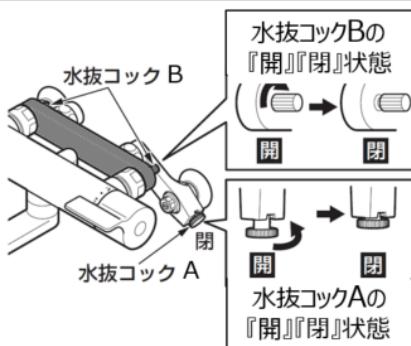


通水再開方法

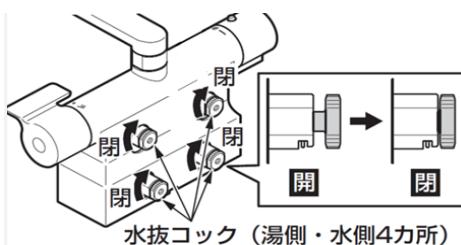
(1)壁付き サーモスタット混合水栓の場合



(2)壁付き サーモスタット混合水栓に心間変換アダプター(TBN01206型)を取り付けている場合



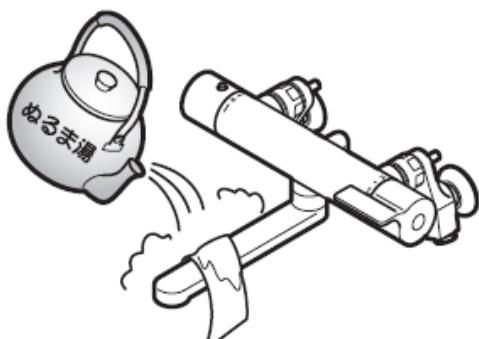
(3)台付きサーモスタット混合水栓の場合



2 切替(開閉)ハンドルが止めの位置まで戻っていることを確認し、通水を再開する。

水抜きを行っても吐水口の網目や
フィルターに付着した水滴が凍り、
通水後も少しの間、水が出ない場合があります。

そのときはタオルなどの布を巻き付け、
しみこませるようにゆっくりとぬるま湯をかけてください。

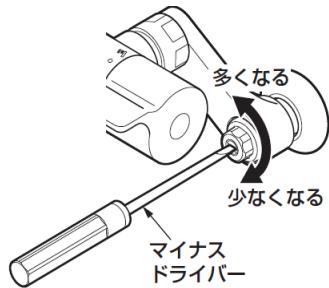
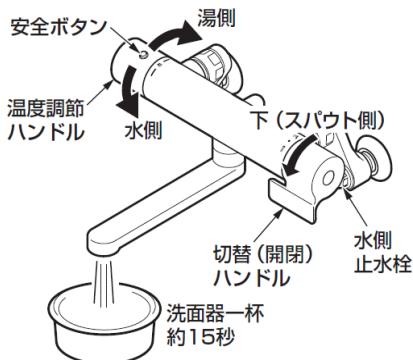
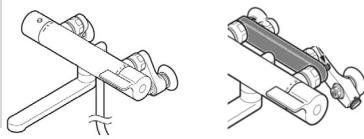


通水再開後に流量が変わった場合の対応方法

準備するもの：洗面器、マイナスドライバー

(1)壁付きサーモスタット混合水栓 および

(2)壁付きサーモスタット混合水栓・心間変換アダプター付きの場合



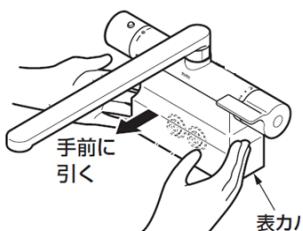
- 1 温度調節ハンドルを下(水側)いっぱいに回し、切替ハンドルをスパウト側いっぱいに回す。スパウトから水が出ます。

- 2 流量が15L/分程度(洗面器一杯にするのに約15秒弱)になるように水側止水栓で調節する。時計回りに回すと流量が少くなり、反時計回りに回すと多くなります。

⚠ 湯側の流量調節をするときはやけに十分に注意してください。

- 3 安全ボタンを押しながら温度調節ハンドルを上(湯側)いっぱいに回し、②と同じように湯側止水栓で流量を調節する。

(3)台付きサーモスタット混合水栓の場合



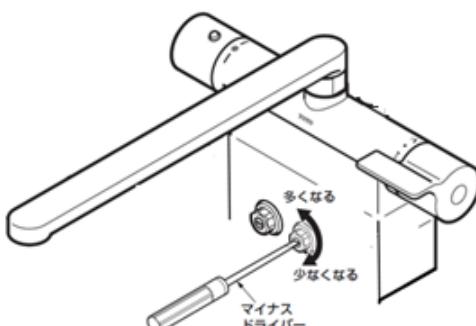
- 1 表カバーを手前に引いて、外す。

- 2 温度調節ハンドルを下(水側)いっぱいに回し、切替ハンドルをスパウト側いっぱいに回す。スパウトから水が出ます。

- 3 流量が15L/分程度(洗面器一杯にするのに約15秒弱)になるように水側止水栓で調節する。時計回りに回すと流量が少くなり、反時計回りに回すと多くなります。

⚠ 湯側の流量調節をするときはやけに十分に注意してください。

- 4 安全ボタンを押しながら温度調節ハンドルを上(湯側)いっぱいに回し、②と同じように湯側止水栓で流量を調節する。



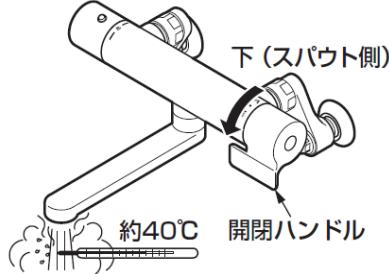
5

万一凍結した場合の対応方法



凍結すると、設定温度がずれて、やけどのおそれがあります。

準備するもの：温度計

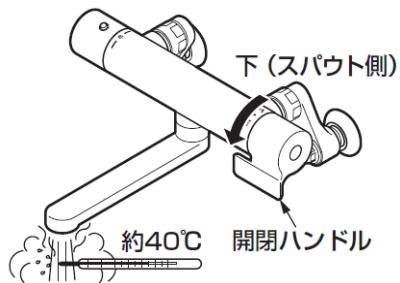


万一、凍結した場合は、

通水再開後の吐水時に温度調節ハンドルの目盛り

"40"と吐水温度がっているか確認してください。

温度がずれている場合の調整方法



準備するもの：温度計、精密ドライバー

1 開閉ハンドルを下いっぱいに回してください。

スパウトから水が出ます。

2 温度調節ハンドルを目盛りに関係なく

適温（約40°C）の湯が出る位置まで回す。

温度調節ハンドルは目盛り"40"を超えた付近で
ロックされますので、これより高温の湯を出したいときは、
安全ボタンを押しながら回してください。

3 温調ハンドルのキャップを

精密ドライバーなど 先の細いものを使用しめつき表面を
傷つけないように注意しながら外す。

4 次に 小ねじを外して

温度調節ハンドルが回らないように注意して
ハンドルを抜き取ってください。

ハンドルの取り扱いには十分に注意してください。
落とさるとけがをしたり、
ハンドルが変形するおそれがあります。

5 目盛りの"40"の文字とポイントをあわせて、
温度調節ハンドルをはめ込む。

6 精密ドライバーで小ねじを固定し、キャップを取り付ける。

7 固定後に適温（約40°C）の
湯が出ているか確認する。

